

No. 1320

天皇誕生日

昭和54年4月29日、天皇陛下は満78歳の誕生日を迎えられました。この日皇居では例年どおり、一般参賀が行われました。

東京地方は朝のうち、あいにくの小雨模様、それでも午前中だけで二万八千人余りが参賀しました。天皇陛下は皇后さま、皇太子、常陸宮ご夫妻とごいっしょに「長和殿」のベランダにお立ちになり参賀に集まった人々に手を振ってこたえられていました。内苑をそろって散歩される天皇、皇后両陛下。内苑はいま、つつじの花が咲き乱れ、一年中でいちばん良い季節を迎えています。お忙しい公務の間をぬってつつじ見物を楽しまれる両陛下。去年は外国からの国賓が多く、何かとお忙しい一年を過ごされたが今年はいくらか余裕のある生活を送られています。満78歳を迎えてますます元気な天皇陛下です。

カメラ・スケッチ

水郷界限

満々と水をたたえた茨城県、潮来。霞ヶ浦・北浦では静かに釣糸をたれる人も多い。7月下旬から12月末まで行なわれる北浦の帆曳漁、風を利用して網を引き、ワカサギやシラウオをとる。世界唯一の漁法とされるこの漁も今や機械にとってかわられようとしている。

日本の経済を象徴するかのようにモクモクと煙をあげる鹿島臨海工業地帯。長年不毛の砂丘とされていた。鹿島一帯は昭和50年完成、その面影はどこにもない。“潮来出島のまこもの中にあやめ咲くとはしおらしや”と民謡にも唄われたあやめ。雨のシーズンをまじかにひかえ、今準備に忙しい。広々とした水田ではもう田植えもはじまった。すべてが機械されるなかでほんのわずか残った手植え。順序よく植えられた稲は田んぼに咲く花のようだ。旅情をさそう水郷界限だ。